

科目の種類	必修	科目名	現代文	学年	3	単位数	4
コース	文系進学コースB						
教科書	教育出版「精選現代文」						
副教材	浜島書店「最新国語便覧」			桐原書店「国語基本問題集」			
<p>科目のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論・小説などを通して、理解力・読解力の向上を目指します。主に、日本の近・現代の歴史や文化・文明について述べられているテキストを多く取り上げ、小論文の基礎知識として活用してもらうこともねらいとします。 ・漢字練習の反復により、語彙（知っている言葉の数）力・漢字力の向上を目指します。 ・模試の解説などを通して、大学入試センター試験レベル以上に対応できる学力をつけることを目指します。 							
<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のベースは教科書教材の読解になります。ただしそこだけにとどまらず、必要に応じて問題演習を行っていきます。 ・漢字は「漢字検定2級」のテキストを用いて勉強し、小テストを実施します。 「漢字検定」の受験は強制ではありませんが、できる限り多くの生徒が資格取得を目指して勉強することを期待しています。 ・実力テストや模擬試験を実施した際には、直後の授業で解説を行います。 ・随時、入試問題などに取り組みます。 							
<p>より良く学習を進めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が話すことを聞いてノートを取っているだけでは、なかなか学力は伸びません。授業に対して受け身の姿勢ではなく、自ら調べ、自ら考える習慣をつけましょう。 ・新聞に目を通す習慣をつけ、社会の動きに敏感になりましょう。小論文の訓練にもつながります。 ・年間十冊以上本を読むようにしましょう。読書は理解力・読解力の向上に必要不可欠です。 							
<p>評価方法</p> <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の得点が中心になります。 							
<p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、授業態度、漢字テスト、小テスト、授業ノート、課題提出などを加味して、総合的に評価します。 							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	評論 (p.71) 「技術と人間の倫理」 随筆 (p.104) 「同情トイフコト」	「評論」という文体に慣れ、その特徴を確認します。 ・基本的な評論の用語や読み方について確認します。 ・文章を構造的に把握し、それぞれの段落が持っている役割や論理的な展開について把握します。 随筆における論理の運びを理解し、文章の展開、構成をとらえていきます。 ・随筆の内容を正確に読み取り、「同情」「想像力」といったことの「意味」を考えます。
	第 1 回	定期考査
前期	小説 (p.260) 「舞姫」	作家・作品の背景について知り、明治時代の人々の一般的な価値観や、この作品に関連した社会的な制度などについて確認していきます。 ・小説の読み方、味わい方についてまとめます。 ・『舞姫』の文体に接し、その特質・魅力について考えます。 ・主人公が抱えた問題を、近代以降の時代を生きる我々の問題でもであると捉え、それらの事柄について考察を深めます。
	第 2 回	定期考査
後期	評論 (p.192) 「世界地図のイデオロギー」 国語基本問題集	知っている評論用語の数を増やし、小論文や問題演習でも使えるレベルにまで深めていきます。 ・文章を構造的に把握し、それぞれの段落が持っている役割や論理的な展開について把握していきます。 ・論理的に文章を読み、思考することができるようにしていきます。 今まで学んだ評論随筆を中心に問題演習をします。
	第 3 回	定期考査
後期	評論 (p.176) 「移動の時代」 国語基本問題集	知っている評論用語の数をさらに増やし、小論文や入試でも使えるレベルにまで高めていきます。 ・複雑な文章でも内容を的確に把握し、細かな意味の違いを識別できる力を養います。 ・論理的に文章を読み、思考することを入試でも使える実践的なレベルにまで高めていきます。 問題演習のまとめです。現代文がどのように出題されるかの意図を理解し、正解へ導くかを考えます。 この後、必要に応じて問題演習（評論を中心）を行います。
	第 4 回	定期考査

学	年	末	考	查